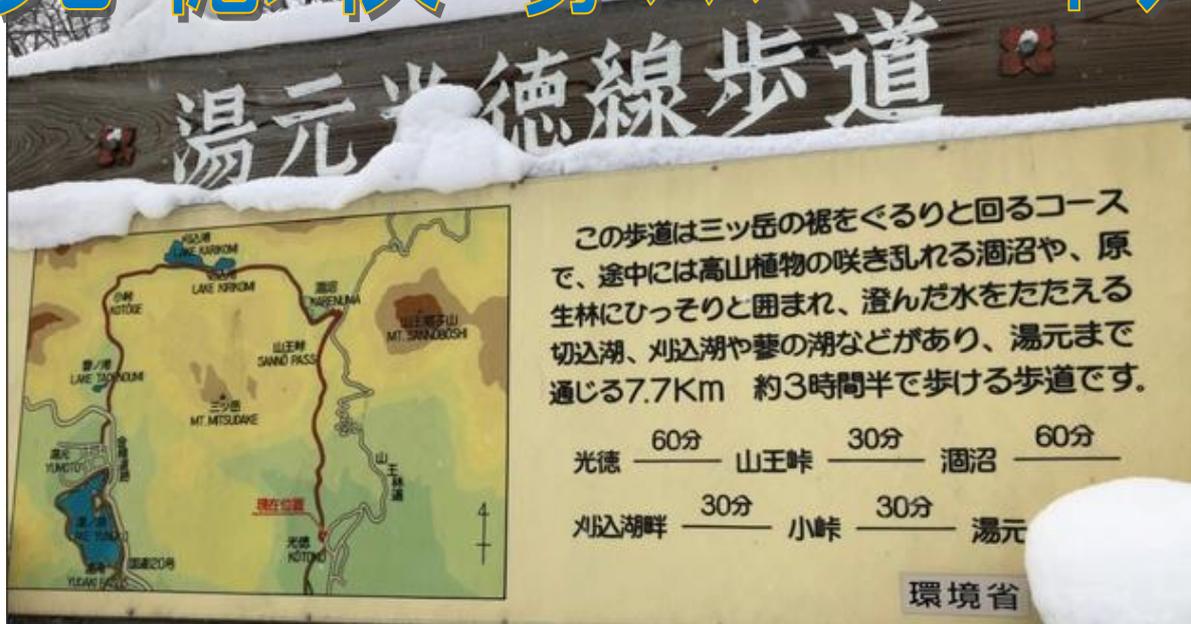


光徳牧場スノーハイク



山 域：日光

コース：12月29日光徳牧場（幕営）

12月30日光徳牧場～山王峠（手前）～光徳牧場

日 時：12月29日（金）～3日（土）

天 候：12月29日雪／30日雪

山行タイム：12月30日光徳牧場9:30～山王峠（手前）10:30～光徳牧場11:30

メンバー：CL 狩野、小川、時田、会員外（岩井）

【山行報告】

年末年始の長い休みに入った12月29日朝8時千葉駅北口に集合した。

12月に入会したOさんは初めてのちば山山行、Tさんの的確な説明で集合場所も間違わず時間前に集合していた。会員外のIさんもすでにセブンイレブンで買い物をしてきた。今シーズン初の雪の中での幕営、雪見酒が楽しんだ。

渋滞を警戒して東関道～圏央道～常磐道～北関東道～東北道を経由し日光有料道路へと向かった。想像以上に道路は空いていて11時に日光へ着いてしまった。昼飯は途中のスーパーでラーメンと野菜を購入して、いろは坂手前の河原で食べることにしたが、日光有料道路を出たところから急に雪が降ってきた。「天気もいいし河原で昼飯作って食うか？」とか話していたが、この雪では外で食べられない。仕方なく車の中で食べることにした。

トイレのある駐車場に車を停めて昼飯の準備をしていたらパトカーが停車した・・・ここで火を使っているとダメなのかな？と思ったら、パトカーから降りて来たおまわりさんはこっちに来ないで道路に出て、いろは坂方面に向かう車を停めてなにやら話しをしている？どうやら雪が降り始めたためスノータイヤのチェックをしているようだ。さすがにこの時期いろは坂を登ろうとする車がノーマルタイヤで来るとは思えなかったが、なんと、数台の車がUタウンさせられている。

ノーマルタイヤでの雪道走行は法令違反になる、罰金は6千円！冬の道路は気を付けよう。

おまわりさんにタイヤをチェックしてもらって出発！いろは坂は徐々に雪が積もってきて中禅寺湖に着くころには道路も真っ白になっていた。戦場ヶ原付近の雪は多少積もっているが笹が顔を出して歩いて歩ける状態ではなかった。スノーシューアーマーの人もスノーシューを履いて、薄らとしか積もっていない雪の路肩をガシガシ歩いてきた。地吹雪も吹いていて寒々としている。

我々は除雪車の終点の光徳牧場向にある公衆トイレの駐車場に車を停めて、すぐ裏の林の中にテントを設営した。



テントを設営して準備万端になったが、まだ酒を飲むには早すぎかな？と思いちょっと三歩に出かけることにした。

Tさんがテントキーパーで夕食の支度をしてきている合間に、スノーハイク初体験のOさんとIさんにアイゼンやスノーシューの使い方説明をした。Oさんは自前の6本刃アイゼンを装着、Iさんにはスノーシューを貸して雪の中の歩き方教室開始。二人とも体力もあって歩き方も問題なさそう。雪もどんどん降り積もって明日が楽しみだ。

テントへ戻るとTさんが「ちょうどいいところに来た。」下準備が終わりあとは煮るだけ。

今日は冬の定番キムチ鍋！広いテントに4人だけどバーナーに火を着けるとあっという間に暖かくなる。今回は人数も少ないのでガスストーブも持って来た、これがかなり暖かい！テントの中で「来年はどんな山に行こうか？やっぱり雪山は最高！雪洞もいいよ！」とか山の話で盛り上がり、あっという間に酔っぱらいの出来上がり。外は深々と雪が降っていて風も無く静かに夜が更けていった。



Tさん自慢のホットサンド！
美味しいよ！

朝はのんびり起きてゆっくり朝食を食べた。

〇さんは初めての雪テント、モンベル0番で寒さも感じず熟睡できたようだが、飲み過ぎで朝飯が食えないらしい。山で朝飯が食えないのは致命傷だ。食い過ぎはデブの元、要注意と自分に言い聞かせる。



朝食を済ませ、それぞれいろいろなアイテムを装着、〇さんはスノーシュー、Iさんは10本刃アイゼン、Tさんはワカン、私は山スキー、それぞれ違う装備で出発だ。

昨日から降り続けている雪でトレースも大分薄くなっている。途中トレースが完全に消えてしまいGPSで道を確認すると、少しコースから外れているようだ。雪の中では藪も無いのでショートカットで進んで行くと、Iさんのアイゼンが壊れてしまった。〇さんが結束バンドを持っていたので応急処置をしてなんとか歩けるように修理完了。〇さんは初めての雪中山行でもあり無理をしても山王峠は大した展望も無いので、さっさと引き返すことにした。

往復2時間程度だったが、軟弱CLとしては今シーズン初の山スキーの履き心地も試せたので十分楽しめた山行だった。同行者の皆さんは物足りなかったかな？ゴメンなさい(〜;)。

12時にテントへ戻り昼飯食べてサッサと撤収。戦場ヶ原のお土産屋さんでお土産買ってトイレにいった帰葉。ずっと降り続いた雪空も日光有料道路の終点付近では青空にかわってた。

以上